



平成25年7月31日

電池の保管にご注意を！

～ パッケージから出した複数の電池を保管中に
出火した火災が発生しています ～

東京消防庁管内で、コイン形リチウム電池をパッケージから出した状態で他の種類の電池と混在して保管し、コイン形リチウム電池から出火した火災が今年に入り2件発生していることから、東京消防庁では保管方法について注意を呼びかけています。

【コイン形リチウム電池による火災】

パッケージから出したコイン形リチウム電池と角型電池(9V)を混在して保管したため、角型電池のプラス端子とマイナス端子にコイン形リチウム電池が挟まり、コイン形リチウム電池がショートして破裂し、出火しました。近くに可燃物があると火が燃え移る危険性があります。

また、コイン形電池やボタン形電池を大量に保管すると、電池同士で回路が形成され、同様の火災が発生する危険性があります。

【火災発生状況】

平成15年から平成24年の10年間で、コイン形リチウム電池の保管に起因した火災は7件発生しています。このうち1件が未使用の電池の保管に起因したもので、6件は廃棄等のため、コイン形電池を多量に保管していたため発生しています。

本年に発生した2件は、いずれも住宅において、コイン形リチウム電池と角型電池を混在して保管していたため、コイン形リチウム電池が角型電池のプラス端子とマイナス端子に挟まり、破裂して出火したものです。

【電池の火災を防ぐために】

- 1 パッケージから出した電池を保管する時は、安全のためプラス極とマイナス極にセロハンテープやビニールテープを貼って絶縁する。
- 2 パッケージから出したコイン形リチウム電池は、他の電池や金属製品と一緒に持ち運んだり、保管をしない。
- 3 コイン形リチウム電池を含む使い切り電池を廃棄する場合は、すべてのプラス極とマイナス極にセロハンテープやビニールテープを貼って絶縁し、廃棄する。
- 4 廃棄の際は、各自治体で定められた方法により行う。

問合せ先

東京消防庁 (代) 電話 3212-2111
予防部調査課 内線 5066 5068
広報課報道係 内線 2345～2350



別紙

1 コイン形リチウム電池から出火した火災状況

コイン形リチウム電池から出火した火災は、平成15年から平成24年の10年間で7件発生しており、本年は6月30日現在で2件発生しています。

(図、表参照)

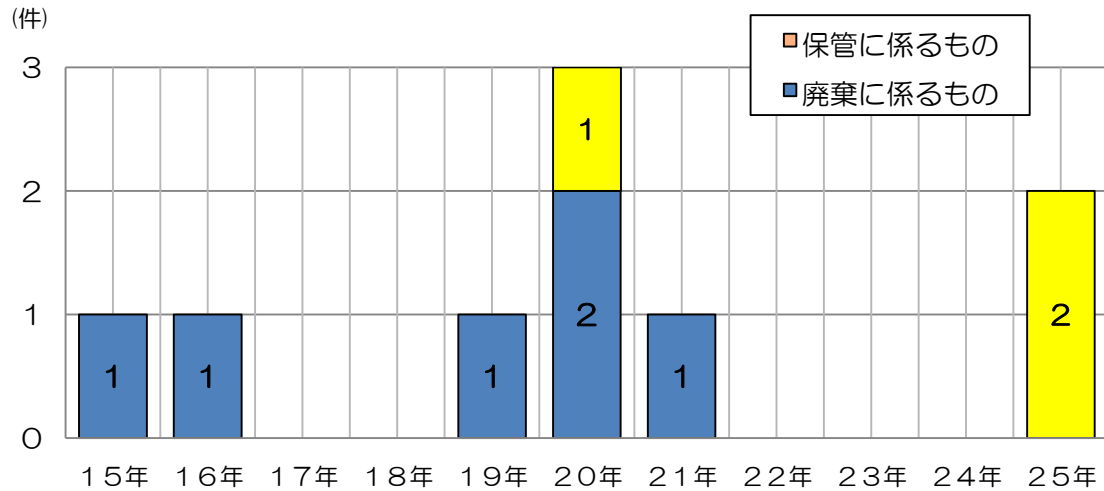


図 火災発生状況の推移

廃棄に係る火災は、産業廃棄物処理施設や倉庫などで、大量の電池をビニール袋やスチール缶などに入れていたため発生しており、保管に係る火災はすべて住宅で発生しています。

表 最近10年間の火災状況

	火災件数					損害状況					
	合計	建物				車両	焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)	損害額 (円)	死者 (人)	負傷者 (人)
		小計	半焼	部分焼	ぼや						
平成15年	1	1			1	-	-	-	30,000	-	-
平成16年	1	-	-	-	-	1	-	-	10,000	-	-
平成17年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成18年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成19年	1	1			1	-	-	-	179,700	-	-
平成20年	3	3	1	1	1	-	1,300	20	267,617,100	-	-
平成21年	1	1	-	1	-	-	-	25	3,303,200		
平成22年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成23年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成24年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	7	6	1	2	3	1	1,300	45	271,140,000	-	-
平成25年	2	2	-	-	2	-	-	-	調査中	-	-

注1 合計欄は、平成15年から平成24年の10年間の合計です。

注2 平成25年の数値は、6月30日までの速報値です。

2 コイン形リチウム電池から出火した火災事例

事例1 「電池をレンズポーチに保管して出火した火災」

(平成25年1月 8時頃 品川区 共同住宅)

この火災は、共同住宅3階の居室内で発生した火災です。出火原因は、コイン形リチウム電池を角型電池や筒型電池と一緒にレンズポーチに保管し、居室内に置いていたため、コイン形リチウム電池が角型電池の端子間に挟まり、ショートして破裂し出火したものです。

火元者の男性が、「ポン」という音と焦げ臭いにおいがしたため居室内を確認したところ、レンズポーチから焦げ臭いにおいがし、レンズポーチの底が焦げているのを発見しました。

写真1 出火したコイン形リチウム電池



写真2 焼損したレンズポーチ



事例2 「電池をビニール袋に保管して出火した火災」

(平成25年6月 17時頃 江東区 共同住宅)

この火災は、共同住宅4階住戸内洗面所から出火した火災です。出火原因は、洗面台の戸棚の中にコイン形リチウム電池や角型電池などをビニール袋に入れて保管していたため、コイン形リチウム電池が角型電池の端子間に挟まり、ショートして破裂し出火したものです。

火元居住者の男性が帰宅すると焦げ臭いにおいを感じ、洗面所へ行くと白煙が漂っており、棚の中で「バチバチ」という音がしているのを発見しました。

写真3 出火した棚の焼損状況

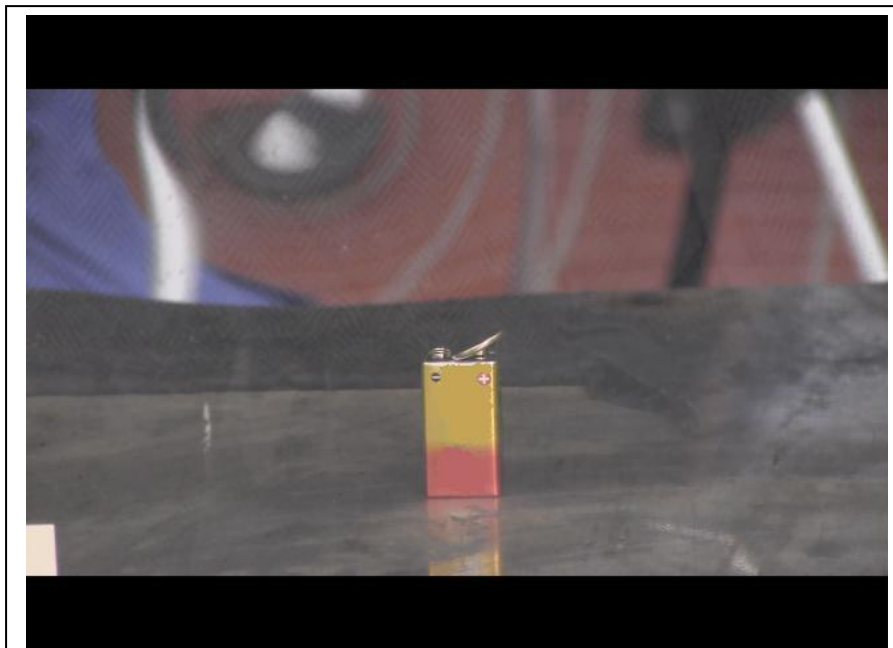


写真4 出火したコイン形リチウム電池と角型電池

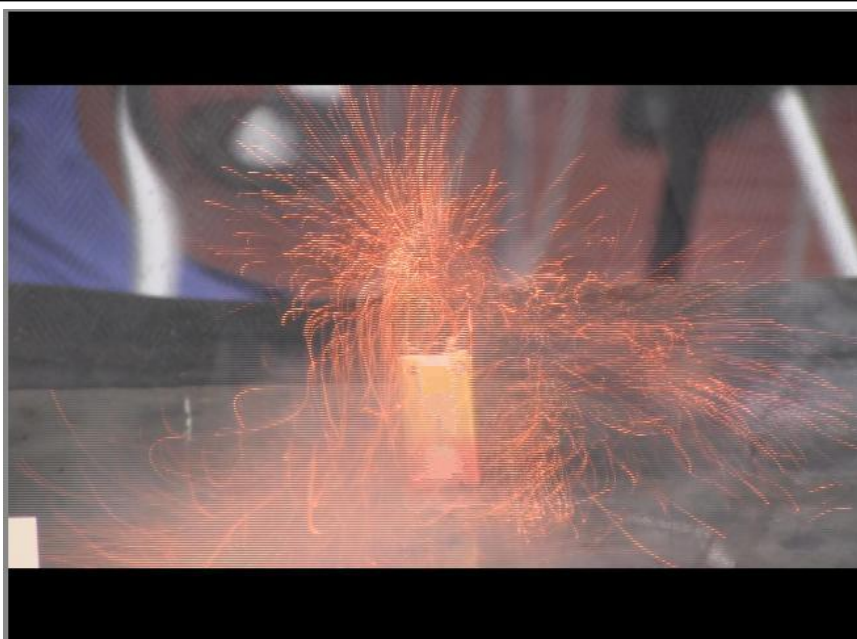


【火災実験映像】

コイン形リチウム電池が角型電池に挟まり、ショートして出火する火災実験



コイン形リチウム電池が、角型電池のプラス極とマイナス極に挟まった状態



約50秒後、コイン形リチウム電池が破裂し、噴出したリチウムが発火